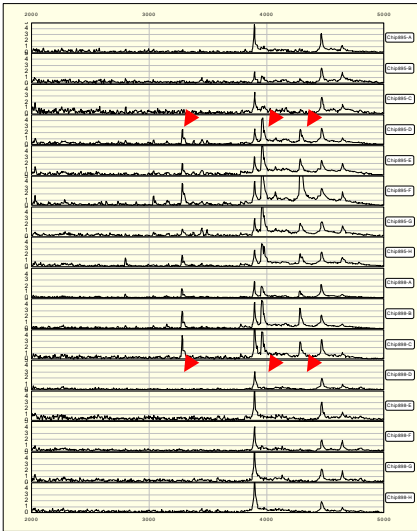


■研究者名 (所属・職名)	友杉 直久 (総合医学研究所先進医療研究部門・助教授)	専門分野	プロテオミクス
■研究情報の分類	<input checked="" type="checkbox"/> シーズ <input type="checkbox"/> 特許 <input type="checkbox"/> 新製品 <input checked="" type="checkbox"/> 分析／解析 <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 他 ()		
■研究分野分類	<input checked="" type="checkbox"/> ライフサイエンス分野 <input type="checkbox"/> 情報通信分野 <input type="checkbox"/> 環境分野 <input type="checkbox"/> 物質・材料分野 <input type="checkbox"/> ナノテクノロジー <input type="checkbox"/> エネルギー分野 <input type="checkbox"/> 宇宙開発分野 <input type="checkbox"/> 海洋開発分野 <input checked="" type="checkbox"/> 他 (プロテオミクス分野)		
■キーワード (日本語訳)	①ヘルスケア ②ブラッド・バンク ③プロテオミクス ④疾患マーカー		
■連絡先	▼Tel ; 076-286-2211 (内線3451) ▼Fax ; 076-286-2786 ▼E-mail ; tomosugi@kanazawa-med. ac. jp	外部公開の可否 (教育学術情報管理システムに登録)	
		公開可・登録可	
■研究情報の名称	みらい型ヘルスケア		
■研究情報概要			
<p><みらい型ヘルスケア・システムとは> 病気に掛かる時には、必ず前兆があります。身体の不調を訴えたときには既に病気は相当に進行しており、病気を完全に治癒させるためには、非常にお金と時間を必要とします。そこで、厚生労働省は、早期発見、早期治療の観点から健康管理、予防医学への取り組みに重点を置いています。 今回我々が提案するみらい型ヘルスケア・システムは、血中や尿中に含まれている、疾患に特異的な蛋白質／ペプチドの発現量を質量解析装置を用いたプロテオミクス技術で捉え、病気を早期に発見し、早期に治療を開始し、その進行を予防することを目的としています。 更に本システムは、予防だけでなく、治療効果や薬剤の副作用も疾患特異性蛋白質で確認ができるため、患者さん個々のテーラーメイド医療を可能にします。</p> <p><定期的なプロテオミクス検査で変調の兆しを見つける> 血中や尿中に含まれている微量の蛋白質／ペプチドを網羅的に毎年測定し、前年度の結果と比較することで容易にその変動を捉えることができます。</p>			
		<p><ブラッド・バンクで、検査検体は全て-80℃保存> 現在のプロテオミクス研究は完成されたものではありません。測定検体を全て-80℃で保存しておき、将来研究がすすみ疾患マーカーが確定されれば、振り返って再検します。</p> <p><報告> 測定結果は、毎回左図のようなスペクトラムで報告されます。</p>	
■関連企業・大学・団体等	中外製薬		
■関連する特許 (申請・公開・取得等の区別)	Hepcidinの測定系 (申請準備中)		
■関連する論文等	Blood 103; 1378-1384, 2006		